

# むくのきだより



7月号

平成29年7月3日

港区立赤羽幼稚園長

宮崎 直人

人と関わる力をはぐくむために

園長 宮崎 直人

暑さが日ごとに増して、園庭の植物やプランターのアサガオ、夏野菜もぐんぐん伸びています。さやえんどう、あんず、ジャガイモに続いて、オクラもちょうど食べ頃になりました。みんな収穫を楽しみにしています。大きくなったオクラを見て、「オニのつのみみたいだね。」と話す子もいて、子供の表現力に感心しています。

6月21日（水）からは、プール指導が始まりました。子供たちは、プール遊びをとても楽しみにしています。5歳児ゆり組は、浮き輪を使って泳いだり、動物になって水の中で体を動かすことを楽しんだりしています。水に顔がつけられるようになったことがうれしくて何度も繰り返しチャレンジする子もいます。4歳児さくら組は、はじめは、水を怖がる子もいましたが、小さなプールを使って遊ぶことによって、徐々に慣れてきています。



6月28日（水）は「縁日ごっこ」がありました。当日はあいにくの雨にもかかわらず29名の未就園児親子と4名の地域の方が参加してくれました。

「縁日ごっこ」の実施に当たっては、保護者の方や地域の方に大変お世話になりました。PTA役員の方や縁日ごっこの係の方を中心に、会場準備やヨーヨーすくい、ボウリング、海の生き物すくい、ぬり絵等のお店の準備や当日の運営等を行っていただきました。とても素晴らしいチームワークで盛り上げていただき、感謝いたします。また、本園OBの「ひよっこママーズ」の皆様には、パネルシアターを上演していただき、ありがとうございました。

5歳児ゆり組は、「ボールたまなげめいろ」と「にこにこビーだまころがし」を行いました。お客さんの案内やルールの説明など、とても上手にできていました。

4歳児さくら組は、「おもちゃやさん」を行いました。「いらっしやいませ」と大きな声で言ったり、遊び方を説明したり、カードにシール貼りをしたりして張り切って行うことができました。このような経験を通して、様々な人と触れ合い関わる力を育んでいきたいと考えています。

本園では、教職員の指導力を高め、子供たちにより一層「生活する力」「発見・考え・表現する力」「かかわる力」を育てるために、園内研究を行っています。

今年度は、研究テーマを「人とかかわる力をはぐくむ」ー健康な心と体を育てる運動遊びーとしました。「幼児の運動遊びの充実」を通して心身の育ちを促し、個々の充実感を高め、友達とのつながりを深めていけるよう研究を進めてきています。

6月20日（火）には、鹿屋体育大学体育学部教授 森 司朗先生を講師としてお迎えし、5歳児ゆり組の保育を見ていただくとともに、ご指導をいただきました。これからも年間を通して研究を進めてまいります。